

好天の下で健脚を競う  
第16回つべつ紅葉マラソン大会開催

秋の恒例スポーツイベント「第16回つべつ紅葉マラソン大会」が、10月1日、快晴の空の下で開催されました。  
小学生から年配の方まで、400人を超えるランナーが、体力、経験に応じてハーフコース、10kmコース、5kmコース、3kmコースに参加。午前10時、各出発地点から津別小学校グラウンドのゴールを目指し同時にスタートしました。  
同大会には、津別高校強歩大会の参加者もエントリーしており、部活や体育授業で鍛えた走力を発揮しハーフコース、10km



▲ゴール前で力走するランナー

自分でテーマを定め積極的に交流  
青少年海外研修派遣事業出発式

10月3日、平成29年度津別町青少年海外研修派遣事業・ニュージージラント研修の出発式が、町長室で行われました。  
今年の参加者は、加藤隼太君、木内基貴君、渡邊直弥君、迫田知夏さん、仲田小夏さん（いずれも津別高校2年生）の5人。10月13日から25日まで、ホームステイ7泊を含む13日間の日程で、オー克蘭ド市内の高校の授業を受けたり、各種施設を訪れるなど、国際的視野を広げる研修に励みます。  
出発式では、竹俣副町長からの「文化の違いを肌で感じ取ってくださーい」との激励に、生徒たちが「防災」「食文化」「家庭教育」など各自が定めたテーマを持って研修に臨み、その経験を将来に活かしたいなどと抱負を述べました。



の違いを肌で感じ取ってくださーい」との激励に、生徒たちが「防災」「食文化」「家庭教育」など各自が定めたテーマを持って研修に臨み、その経験を将来に活かしたいなどと抱負を述べました。

townics

まちのわだい

津別町市民後見人養成研修修了式  
受講者に修了証書を授与

9月22日、平成29年度津別町市民後見人養成研修の修了式が、林業研修会館で行われました。式には講義や実習など、全9回30時間を超える研修を終えた12人の受講者が出席。研修を終えてのスピーチの後、佐藤町長から一人一人に修了証書が手渡されました。最後に友澤太郎弁護士による講話「市民後見人への期待」を聴いて研修を締めくくりました。



▲研修を終え佐藤町長から修了書を授与される受講者

研修の修了者で、津別町安心生活サポートセンターの市民後見人候補者名簿に登録された方は、家庭裁判所の選任により、認知症等で判断能力が不十分となり、親族がない人の法律行為を行います。

炊事車によるカレーライス試食会も実施  
自衛隊友の会第23回秋季交流会開催

9月30日、津別町自衛隊友の会（仲田實会長）の第23回秋季交流会が、さくら公園で開催され、会員とその家族がパークゴルフ大会やいも掘り、懇親会などで親交を深めました。



▶カレーライス試食に並ぶ参加者

また、会場には陸上自衛隊美幌駐屯地の装甲車輛や偵察用オートバイなど車両3台が展示されたほか、自衛隊の炊事車によるカレーライス作り実演と試食会も行われ、訪れた多くの町民が温かいカレーに舌鼓を打っていました。

## 津別町の医療最前線～津別病院・前編～

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

第7回

津別町唯一の病院「丸玉木材株式会社津別病院」で働くドクターはどんな人なんだろう？ 今回のタウンニュースつべつではそんな疑問にお答えします。

勤続48年の名誉院長近藤先生のお見送りから、昨年津別病院にやってきたニューフェイスの先生、院長の相澤先生まで登場。それぞれの先生が診察時に心がけている事とは？ ぜひご覧ください。

職員がレポーターに挑戦

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。

完成した映像は、町のWebサイトに埋め込まれる他、道東テレビでも公開いたします。

※この番組は、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月20日更新 《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画グループ ☎76-2151 (内線215)

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだことを感じたいことをつづります。

Neo Folk

Neo Folkでのものづくりは廃材探しから始まります。一般的には不用品でも、他では買えないものなので、私たちがとってはお宝です。何が作れるか考えながらの宝探しは、ワクワクして楽しいです。掘り出し物もあれば、本当にゴミを持って帰ってきて後悔することもあります。

材料を集め終えてしまふと、それをどのように使えばいいのか、素材の実験と自分のスキル磨きに移ります。長い冬の時代です。商品なので、かっこいいけど脆いというのでは困ります。しかし、素材と時間は有限です。そのせめぎ合いの中で、ものづくりは楽しく、なかなかたいへんだ

萩原由美乃

Neo Folkのクラフトマンとして相生で活動しています。札幌出身、船橋市生まれ。

など感じています。でも、驚くべきは、助けてくれる人が必ずいるということなんです。しかも身近に！

例えば、私の商品第一号、バスケットボールのペンケースの場合は、パタンナーとしてのキャリアを持つ方に協力していただいています。自分で作った試作品とは比べものになりません。

ものづくりをしていて、津別町にはスキルを持った人がかなり隠れているような気がします。それってお宝だなー、と思います。素材と人材を発見して、良いものをつなげていくのが、Neo Folkのものづくりなんでしょう。